

応急処置方法マニュアルの追加にあたって



本誌の有効期限について

本誌に記述されている項目は2019年時点のものであり
対処等に変更が生じる可能性を鑑みて1年に一度、
12月開催分の安全プロジェクト内にて内容の確認が必要
となります

2019年の安全プロジェクトで
作成された
緊急時対処法マニュアル

毎年内容の確認を行い、
今年の安全プロジェクトにて
更新を行うことに決定

応急処置方法マニュアルの作成

指を切断した場合

安全において、最初に止める“押さ”“縛り”を行ってください。③二次搬送の可能性がない場合は上掲への搬送と処置を行う事を選択します。

① 応急手当と共に119番通報

最寄りの消防署や救急センターに2フロアまで来てください。

② 圧迫止血をする

清潔なガーゼをあて、出血が止まる後、圧迫をします。

③ 切断した指をビニールに入れる

乾くのを防ぐ、湿く保ちます。

④ ビニールを更にビニール袋に入れる

切断した指の入ったビニールを更にビニール袋に入れて持ち帰ります。

⑤ ビニールに氷を入れる

水で濡らしたビニールに数層の水を入れ（4で指を包む）水の入った袋を覆り保ちます。



氷を直接指に当てないでください。指を凍らせないでください。

⑥ 医療機関を受診する

切断した指と共に医療機関を受診します。

①通報、②止血、③指の処置は必ず行ってください。

指の切断

現場で起こりうる怪我の中で対処方法が複雑かつ一般的に浸透していないものとして選択

骨折した場合

安全において、最初に止める“押さ”“縛り”を行ってください。③二次搬送の可能性がない場合は上掲への搬送と処置を行う事を選択します。

① 冷やす

冷たい水（氷のう）などで冷やします。冷やさない場合は、傷を悪くするためタオルなどで包み、湿気を防ぐようにします。



② 心臓より上に挙げて安静を保つ

骨折を固定するために、可能な範囲で心臓より上に挙げます。また、腫れを抑えるために安静を保ちましょう。



③ 添え木をあて、固定する

添え木で固定することにより、骨折部の変形を防ぐことができます。添え木を骨折部を固定し、しっかりと固定するようにします。固定できない場合は三角巾やバンデージで固定することができます。



④ 肩、肘、腕の場合は、三角巾で支える

スカーフなど適当なサイズの布を三角巾の中央とし腕を縛って支えます。三角巾の中心が手首に届くように固定してください。腕が伸びないように注意してください。



①冷やす、②心臓より上に挙げて安静を保つ、③添え木をあて、固定する、④肩、肘、腕の場合は、三角巾で支える。この4つは必ず行ってください。

骨折

場所に関わらず比較的起こりやすい怪我であり処置に様々な道具を使うため選択

間接止血が必要な場合

安全において、最初に止める“押さ”“縛り”を行ってください。③二次搬送の可能性がない場合は上掲への搬送と処置を行う事を選択します。

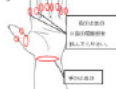
①間接止血は圧迫止血で出血が止まらない場合に圧迫止血と併用して行います。

例：骨折などで出血が止まらない場合、間接止血は圧迫止血の下に腕の裏側を巻いて出血を止めます。②強く押さえて出血を止めるようにしてください。止血点より先に固定する必要があります。

① 腕



② 手



③ 脚



④ 頭



間接止血

間接止血を行う場合は止血点を調べないとわからないため、すぐに対応できるように選択

応急処置方法のクイズの実施



対象者約150名

期間4/28~5/17

弊社9事業所の全従業員が対象



120件の回答

回答率80%



内容

応急処置方法マニュアルから抜粋

目的

従業員の理解度の把握
知識の定着

実施サービス

グーグルフォーム



回答方法

スマホ



PC

